

活動テーマ：地元高校と連携したESDモデルの構築及び地域課題解決と連動したエコツーリズムの推進

■ 実施地域（山口県 周防大島町）の現状

【基本情報】

- 山口県南東部の瀬戸内海に位置し、全域が瀬戸内海国立公園指定される等、美しい景色や自然に恵まれている。
- 人口は14,798人、高齢化率は54.6%（令和2年10月1日時点）となり、人口減少・少子高齢化が顕著に進む地域。産業は農業及び水産業が主要な産業。



(出所：町提供資料より)

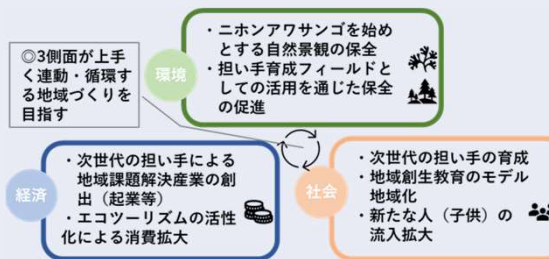
【地域資源】

- 瀬戸内海国立公園では初となる「海域公園地区（町南東沖の海域）」に指定されている国内最大規模のニホンアワサンゴの群生地（約3,000m²）
- 自然保全に向けたエコツーリズム等に取り組む多様な団体
- 地域創生を学ぶ学科を有する地元県立高校

■ 取組を通じて目指すありたい姿

- 当海域に群生するニホンアワサンゴをはじめとした、豊かな自然の活用を通じた保全を進めるとともに、地域の子どもたちをこの取組に参画させ、**町をフィールドとした地域課題解決を通じて次世代の担い手育成を地域と連携し進める。**

- 自然環境の保全、**新たな地域課題解決の事業創出と連動しながら地域の担い手が育ち、地域の資源が循環していく地域作りを目指す**とともに、地域創生教育モデルとしての構築を進めていく。



■ 令和4年度の取組内容

◎ 高校と連携したESDモデルの構築

- 周防大島高校と連携し、YM-ZOPの作成した地域循環共生圏の形成に係る学習ツールを活用して**地域課題解決のアプローチ手法を学習するとともに、地域の多様な団体や関係者と連携してエコツーリズムの活用や自らが考える課題に対する解決方法（エコシステム）を協働して検討。**
- 提案した「しまキャン△」については、**内閣府「地方創生☆政策アイデアコンテスト」の全国大会へ出場し、4つの企業協賛賞を受賞（NEC賞、True Data賞、損保ジャパン賞、観光予報プラットフォーム賞）。**



生徒の考案したアイデア

◎ 地域プラットフォームの構築

- 周防大島高校の取組を応援することが、地域の事業者の方々にも裨益することを、産業間取引構造や地域経済循環をもとに丁寧に説明行い、**全3回の意見交換会を通じて20以上の企業や団体に地域プラットフォームへ参画頂いた。**



地域の在りたい姿を描いた地域版マングラ

意見交換会の様子

地域循環共生圏づくりプラットフォーム構築業務 概要(山口県 周防大島町)

■ 令和5年度の取組内容

◎ ICTを活用したESDモデル構築

- 環境、経済、社会の統合的な課題解決を目指す事業のタネを高校生が生み出すには地域循環共生圏を理解することが必要だが、**教員の異動や生徒の卒業によりノウハウが教育現場に残りづらい点が課題**。また、令和4年度は生徒の発表会にステークホルダーが参加し意見交換を行うことで事業のタネの磨き上げを実施したが、意見交換会のタイミングだけでは磨き上げの回数も限られることから、**地域の関係者の負担を低減するとともに、即時性がある磨き上げの仕組みづくりを行うことが必要**。
- 令和5年度の取組では、生徒のアイデアをオンライン上にアップロードし、プラットフォームに参画している地域の関係者がオンライン上でタイムリーにフィードバックを行う環境を整備する。本取組は、文部科学省・環境省が策定する「**第二期ESD国内実施計画**」の5つの優先分野における「**学習環境の変革**」、「**教育者の能力構築**」、「**地域レベルでの活動の促進**」の達成に資する取組であり、他地域でも実現可能なESDモデルを構築することで、次世代の担い手育成と持続可能な地域づくりを目指す。



ICT活用した新たなESDモデルのイメージ



オンラインによるフィードバックの流れ



出所：文部科学省・環境省「第二期ESD国内実施計画」

◎ 「事業のタネ」の事業化に向けた仕組みづくり

- 生徒が提案した事業のタネの事業化に向けて、**ICTを活用し地域の関係者が事業化支援を行う**。
- 【今年度実施が決定している内容】
- NPO法人がシュノーケリングで二ホンアワサングを見学するツアーをクリアカヤックを活用した内容で商用化。
- 周防大島高校が関わった地域産品をリターン商品として購入型クラウドファンディングを組成し、テストマーケティングを実施。二ホンアワサングの保全及び事業化に向けた実証費用を資金調達。... etc



高校生の発案によるエコツアーのコンテンツ（クリアカヤック）



作製したアロハシャツ